

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 見立

目標達成計画書

作成日: 平成 23 年 07月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域との付き合い	利用者の重度化や地域住民の高齢化により、交流することが年々困難な中で、地域の高齢化問題や環境を考慮しながら、ホーム職員が率先して、地域と協力していく体制を確立していく。	地域密着型事業所として、介護相談事業や地域行事に職員が積極的に協力したり、ホーム行事に招待する等、相互信頼関係を構築していく。	12ヶ月
2	7	運営に関する利用者、家族等意見の反映	意見箱、苦情窓口、家族面会時等に意見交換し、要望を聴いているが、少ないので、なんでも言ってもらえる関係を作り、利用者や家族がいつまでも安心して過ごせる環境を確立させる。	家族交流会をホーム行事に合わせて開催したり、家族だけで話せる場を設けたりして、利用者や家族が孤立しないで、楽しい共同生活を送れるように支援していく。	12ヶ月
3	10	人権教育・啓発活動	職員全員、人権尊重・啓発活動などに心がけているが、勤務体制により、外部の研修に全員参加は難しい為、内部での研修で啓発活動を確立させる。	外部研修は、職員全員交代で受講できるように、代表者・管理者が、法人内研修を増やすよう率先して努力する。又、市の人権センターなどを利用して、短時間でも繰り返し学習できるDVDなどを活用した、内部研修会を実施していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。